

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
臨床微生物学実習	2年次	必修	実習	2単位（90時間）	金子 博司 ※	
授 業 概 要						
各種病原微生物の培養法、染色法、同定法、薬剤感受性試験について学ぶ。無菌操作、滅菌消毒法、標準予防策における基本的手技を習得する。						
到 達 目 標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手指や作業環境の消毒・滅菌を自分で判断して実行できる。 ・ 目的による培養法の違いを理解し、実行できる。 ・ 分離培養、純培養などの培養手技を適切に行うことができる。 ・ 様々な菌の培養や性状確認テストを行うことにより、各菌の性状や特徴、臨床的意義などを説明できる。 ・ 薬剤感受性試験の実施方法を理解し、結果の解釈について説明できる。 ・ 検体や菌株の保存法や検査の進め方を理解し、自分一人の判断で未知検体を同定できる。 						
実務経験のある教員						
金子博司：病院での臨床経験を踏まえ、微生物検査の対象と意義及び実際の検査手技について概説する。						
回	学 習 内 容				担当教員	
1	消毒・滅菌法：各種消毒剤、滅菌法の知識と手技を修得する。				金子 博司 ※ 小林 浩二	
2～4	培地作製法：基本的な培地の作製手技を修得する。					
5～8	培養法、グラム染色：さまざまな培養法の知識と手技の修得、グラム染色の練習					
9～20	スタフィロкокカス属、ストレプトкокカス属の同定、ヘモフィルス属の同定、 薬剤感受性試験法、迅速診断法					
21～32	腸内細菌科、ビブリオ属の同定、同定キットを用いた検査法、薬剤感受性試験法					
33～44	シュードモナス属、レジオネラ属、カンピロバクター属、マイコバクテリウム属 の同定（含 PCR 法）、薬剤感受性試験法、薬剤耐性菌の検査法、真菌の同定法、 ウイルス検査法					
45	微生物検査の結果解析と評価					
学 習 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表的な病原微生物を配付し、同定、感受性試験について一連の流れを実習する。 ・ 各菌の性状や各種生化学反応の確認・スケッチが重要となる。 						
評 価 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習修了試験（70%）及び実技試験（10%）レポート等（20%）により評価する。 ・ レポート等は評価基準に従い評価し、これを満たさない場合は評価しない。 ・ 再試験も同様に評価するが、レポートの再評価はしない。 						
先 修 科 目						
微生物学						
教科書、参考書						
〔教科書〕						
臨床検査学講座 臨床微生物学 松本 哲哉 他 医歯薬出版						
微生物検査学実習書 森田 耕司 他 医歯薬出版						
〔参考書〕						
病気がみえる 免疫・膠原病・感染症 MEDIC MEDIA						